



様式第12号(第14条関係)

令和6年6月18日

令和5年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 鳥取市本町1丁目201ミュトスビル2階
団体名 特定非営利活動法人鳥の劇場
代表者職・氏名 代表理事 中島 諒人

令和5年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和5年度合計 4,422,400 円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書<様式第12号の2>
- (2) 寄附金活用収支決算書<様式第12号の3>

令和5年度寄附金活用実績報告書

事業名	鳥取市鹿野町を演劇を中心とした創作と交流による「出会いと発見」の場に！
実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	令和5年度 新施設の設計、旧幼稚園舎改修工事 ・新施設の設計：新バックヤード棟、交流棟などを地域と協働しながら整備するために必要となる調査・設計業務を実施 ・旧幼稚園舎の改修工事：調査・設計・監理業務、改修工事 場所：鳥取市鹿野町鹿野 令和5年度寄附金の一部は次年度以降の新施設建設に充当することとし積み立てる。
事業実施の成果・効果	R5年度のギフ鳥においては、R6年度に起工する新施設の建設費用を集めるという目的で、事業を実施した。 目標額1000万円に対し、ギフ鳥で集まった金額は、3,879,000円であったが、このギフ鳥の事業を行うなか、ふるさとチョイスのWebページでの情報発信ができたこと、また、鳥取県の情報発信を利用できたこと、そして、自分たちで行う情報発信の方法について学べたことなど、非常に効果があったと感じている。 ギフ鳥の募集期間中に、認定をとれたことも後押しし、鳥の劇場独自のサポーター制度を使つての寄附金も増え、R5年度3月31日までには、500万を超えるサポーター寄附金が集まり、ギフ鳥と合わせると、800万円という金額になった。 年度の後半からこれだけの寄附金が集まったのは、ギフ鳥事業に参加した効果であろうと考える。 これらのお金は、R6年度の新施設の建設資金として、積立ておくこととし、寄附して下さった方々の気持ちを大切に、使わせていただきたいと考えている。 資材費や人件費の高騰で、元々のプランを縮小せざるおえなくなってきたことも鑑み、継続してR6年度もギフ鳥事業に参加し、寄附金を募集したいと考えている。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第12号の3 (第14条関係)

令和5年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区 分	金額 (円)	内 訳
支援寄附金	2,546,400 円	(第1回交付分)
支援寄附金	1,876,000 円	(第2回交付分)
収入 計	4,422,400 円	

【支出】

区 分	金額 (円)	内 訳
文化交流拠点整備事業支出	1,114,002 円	旧鹿野小学校解体工事一期及び旧幼稚園舎改修工事
文化交流拠点整備事業支出	205,198 円	鳥の劇場改修工事設計及び監理業務料 365,000 円の一部
繰越金	3,103,200 円	次年度繰越金 (R6 新施設建設のための 費用と新施設で使用する備品購入費用 として積み立て)
支出 計	4,422,400 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。